

新春のおよろこびを申し上げます

21世紀に向けての

将来展望を

油谷町長 松永 對介



昭和六〇年の新春を迎え、町民各位に謹んでご祝詞を申し上げます。

昨年は、町制施行三〇周年の記念すべき年を送り、過去の積重ねの中から現在を見つめつつ、町政発展のため各種事業を推進してまいりました。

おかげをもちまして、ほ場整備事業をはじめとして、長門海域総合開発事業、企業誘致、及び伊上小学校建築工事の着工、更には明日の町づくりの指針であります、町民憲章の制定など着実に進展をいたしてまいりましたことは、町民各位のご理解とご協力の賜でありまして、改めて深甚なる敬意と謝意を表するものであります。

さて、今年の情勢を展望いたしますとき、地方自治体を取りまく環境は、誠に厳しい状況にあり、国の行財政改革に伴い、地方の行財政事情は昨年も増して極めて厳しいものになることが予測されます。

このような時期にこそ、しっかりと将来を見通し、二一世紀に向けて本町の総合計画を基軸としながら、慎重な選択と堅実な実行によって、住民福祉の向上のためより一層の努力を尽さねばならないものと、覚悟を新たにしているところであります。

住民各位の町行政に対するご要望は、年々高度化、多種多様化いたしておりますが、農林漁業をはじめとする各種産業の均衡ある発展のため、生産基盤の整備拡充などの継続事業を重点的に実施いたしますとともに、定住環境の整備を促進し、雇用対策と地域経済活性化のための企業誘致につきまし

ては、昨年進出が決った三企業の早期操業と油谷干拓残地への企業誘致を強力に推進いたす所存であります。

また町制三〇周年記念事業としての、町民会館建設、町全域への防災行政無線の設置を年次計画で実現いたしたいと思っております。

益々厳しさを増す経済環境下にありますけれども、これに適切に対応して目的を達成して行かなければなりません。

情勢は誠に多難であると考えますが、皆様方とともに英知を結集し、創意と工夫をこらして、町づくりの基本理念であります「あたかいい心のふれあいと、豊かな生活をめざして」行政運営に当たってよく決意であります。

このうえとも一層のご協力とご支援をお願い申し上げます。年頭にあたり、町民各位の益々のご多幸を祈念いたしますとともに、いささか所感を述べまして、ごあいさついたします。

町民優先の議会活動を

油谷町議会議長 林 常之



様に議会を代表いたしましたして、謹んでお慶びを申し上げます、心から皆さんのご多幸を祈念するとともに地域社会の福祉の増進に全力をつくさねばならないものと、決意を新たにするものであります。

今年も内外の諸情勢からみて、経済状況の好転は望めず、特に地

方自治体の財政は、年を追うごとに厳しさを増すものと思われまます。こうした中で本町は、昨年町制施行三〇周年を迎え、先人の業績を受継ぎながら、各種の事業が推進されてまいりました。

県営ほ場整備事業、農村基盤総合整備事業、海洋牧場等の継続事業をはじめとし、伊上小学校の改築、更には全町民が期待をいたしております企業誘致は、油谷干拓へ水産物加工業の三社が進出を決定するなど、着実に進展をいたしましたことは、町執行部のご努力もさることながら、町民各位のご理解あるご協力の賜と衷心より厚くお礼申し上げます。

新しく迎えました、一九八五年は、前年にも増して極めて厳しいものがありますが、農林漁業の生産基盤整備等、継続事業は勿論のこと、商工業の振興、教育施設の整備、更には福祉対策など、町政の均衡ある発展と、一層の飛躍を期待するとともに、私たち議会が果た役割の重要性を深く認識いたしまして、住民福祉の向上のため地域感情を払拭し、全町的視野に立つて議会運営を推進したいと考えます。

益々多様化する社会環境の中にあって、町民憲章の理念のもと、明るく住みよい町づくりに向って努力をいたす所存であります。年頭にあたり、先人の足跡に学びつつ、思いを将来にせ、町民優先の議会活動と公正な議会運営を推進する覚悟であります。町民各位のご支援とご協力をお願い申しあげてごあいさついたします。